

THE
WOOLMARK
COMPANY



フェルト トートバッグ BY CMMN SWDN

スキルレベル- 上級





材料

- 100%メリノウール毛糸、10Ply(並太)ー梳毛、重量ー600g
- 5mm (US 8) の輪針2本ー長さ80cm以上のもの
- ステッチマーカー
- ステッチホルダー x 3
- 毛糸針

略語

※本文には使用していませんが、英語版を見る際に参考にしてください。

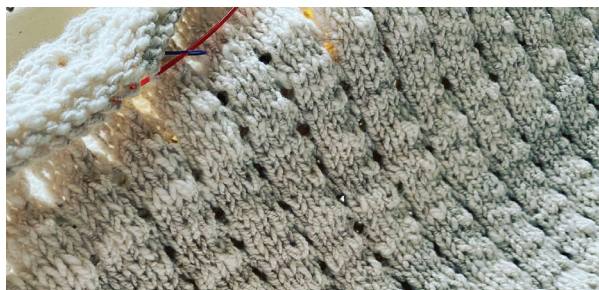
CO=作り目; **K**=表編み目; **P**=裏編み目; **St**=編み目;
BO=伏せ止め; **YO**=かけ目;
K2tog=表編み左上2目一度(1目減らす);
RS=編み地の表側の面; **WS**=編み地の裏側の面;
PM=ステッチマーカーでしるしをつける;
SM=ステッチマーカーを右針に移す

必要なスキル

- 作り目
- 編み終わりの処理/伏せ止め
- メリヤス編み(表編み段と裏編み段を交互に編む)

LET'S GET STARTED!

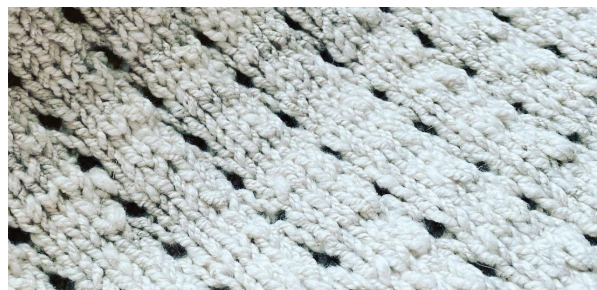
ステップ 1



1本目の輪針に80目作り目する。
以下のように、メリヤス編みを30段編む。

- 1段目: 表面一表編み
- 2段目: 裏面一裏編み

ステップ 2



31段目: 表面一段の終わりまで編む。ステッチマーカーでしるしをつける。

2本目の輪針で側面の端から30目拾って表編み。ステッチマーカーでしるしをつける。

2本目の輪針で、作り目の端から80目拾って表編み。ステッチマーカーでしるしをつける。

2本目の輪針で残りの側面の端から30目拾って表編み。ステッチマーカーでしるしをつける。

ステップ 3



メリヤス編み(表編み)で3段編む。ステッチマーカーの箇所に来たらマーカーを右針に移す。

ステップ 4



4段目: (表面) 表2、*かけ目、表編み左上2目一度(1目減らす)*、*~*の間を残り1目になるまで繰り返す、表1、ステッチマーカーを右針に移す。

(側面) *表2、かけ目、表編み左上2目一度(1目減らす)*、*~*の間を残り1目になるまで繰り返す、表1、ステッチマーカーを右針に移す。

(裏面) *表2、かけ目、表編み左上2目一度(1目減らす)*、*~*の間を残り1目になるまで繰り返す、表1、ステッチマーカーを右針に移す。

(側面) *表2、かけ目、表編み左上2目一度(1目減らす)*、*~*の間を残り1目になるまで繰り返す、表1、ステッチマーカーを右針に移す。

ステップ 5



5-7段目:メリヤス編み(表編み)で3段編む。ステッチマーカーの箇所に来たらマーカーを右針に移す。
4~7段目のパターンを20回繰り返す。

ハンドルを作る



1段目ー(表面)伏せ止め2、表25、残り28目になるまで伏せ止め、表25、伏せ止め3。

(側面)すべての編み目を伏せ止めする。

(裏面)伏せ止め2、表25、残り28目になるまで伏せ止め、表25、伏せ止め3。

(側面)すべての編み目を伏せ止めする。

ストラップを作る

注:ここから編み目を分割して、ストラップを1本ずつに分けて編みます。必要に応じて各ストラップの編み目をステッチホルダーに通しておきます。編み目は輪針に残しておいてもかまいません。

1本目のストラップ

1段目(表面):表編み左上2目一度(1目減らす)、残り2目になるまで表編み、表編み左上2目一度(1目減らす)。

2段目:裏編み。

3段目:表編み左上2目一度(1目減らす)、残り2目になるまで表編み、表編み左上2目一度(1目減らす)。

4段目:裏編み

ストラップの長さが、分かれ目の段から約25cmにな

るまでメリヤス編みを続けます。

伏せ止めする。

2本目のストラップ

2本目のストラップ用の25目を針に戻します。

1本目のストラップの2~4段目を繰り返し、21目まで減らします。

ストラップの長さが、分かれ目の段から約30cmになるまでメリヤス編みを続けます。

伏せ止めする。

残りの2本のストラップも同様に編む。

前面のハンドルを後面のハンドルと縫い合わせます。バッグと同じ毛糸を使い、目を詰めて細かくしっかりとランニングステッチ(なみ縫い)します。フェルトイングを行う前に、残ったマーカールを取り除き、残りの毛糸を編み地にくぐらせて取り除きます。

トートバッグを手作業または洗濯機でフェルト状にします：

洗濯機でフェルト状にする

家庭用洗濯機の温水洗い／冷水すすぎのサイクルで洗剤を入れて洗います。しっかり攪拌するため、衣類を何点か一緒に入れてください。トートバッグの形を整えて乾かします。希望の仕上がりサイズになるまで、数回このサイクルを繰り返す必要があるかもしれません。

手作業でフェルト状にする

シンクに温水を満たし、液体洗剤(手洗い用、食器用などどんな洗剤でも構いません)を少々入れます。ゴム手袋をはめてください。洗剤を入れた温水にトートバッグを浸します。片手でバッグを持ち、もう一方の手で編み地の表面をこすります。表面全体を、編み目がはっきりしなくなるまでこすります。やさしくすすいで洗剤の残りを落とします。形を整えて乾かします。

注：乾かす際は、バッグにタオルを詰めると形が整いやすくなります。

このウール製トートを洗う際は、ウール用の洗剤を使って洗濯機のウール・コース(おしゃれ着/ドライ・コース)、または手洗いで行ってください。形を保つため、乾かす際にタオルを詰めることを忘れないようにしてください。<https://www.woolmark.jp/about-wool/wool-care/>にて、ウールの洗濯と乾燥について簡単なヒントをさらにご覧になれます。

